

復興支援調査について

資料No.7
H23.12.15

- ① 第3回下水道地震・津波対策技術検討委員会（7月19日）及び
第1回復興支援スキーム検討分科会（8月5日）の議論を踏まえ、
国土交通省では、8月下旬より復興支援調査の公募を行ったところ。

- ② 合計8社から提案があり、国土交通省としては、提案の具体性や実現
可能性等を踏まえ、
 - ・宮城県気仙沼市に対する「ハイブリッド下水道システム」の提案
 - ・宮城県仙台市に対する「管路の下水熱利用システム」の提案採択することとした。

- ③ 今後は、これらの提案をベースとして、対象地方公共団体の意向、本分
科会や個別に設置予定の調査チームでの議論等を踏まえ、事業化に向け
た調査を進める。

別紙参照

分科会等の今後の進め方について

- 復興支援調査については、個々の調査毎にチームを編成し、現地調査や現地会議を含めた具体的な調査を進めていく。

※調査チームのイメージ

対象地方公共団体・県、国土交通省下水道部、学識経験者、
関係法人・機関、調査担当企業
の中から調査内容に応じてメンバーを編成。

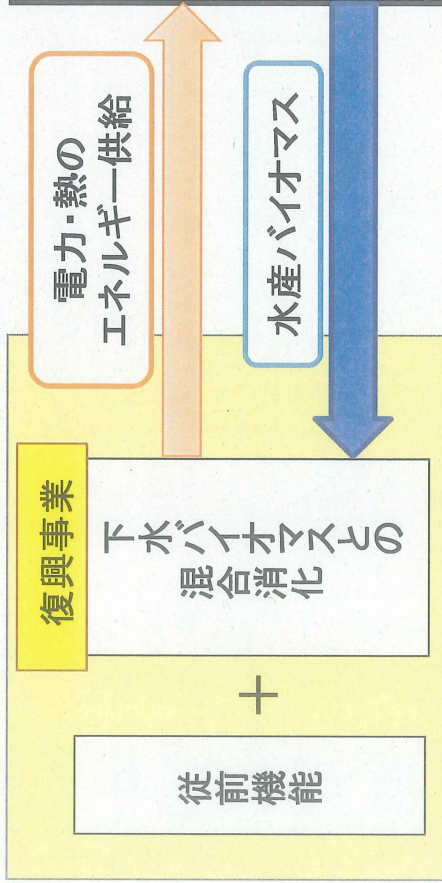
- 分科会については、本調査の進捗状況を踏まえ適宜開催する。
- 本分科会は、多岐に渡る分野の方々による豊富な知見を活用できるプラットフォームであることから、本調査のみならず、他の調査などで本分科会による情報共有・支援の要請があれば適宜対応していくこととしたいが如何か。

(別紙) 復興支援調査

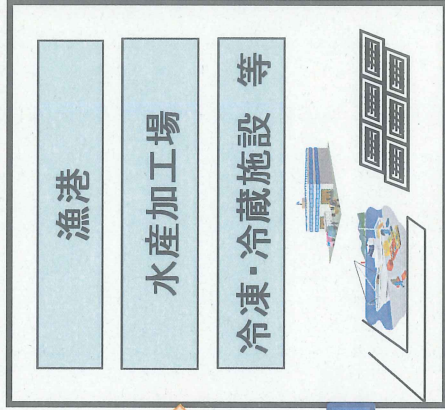
気仙沼市

復興プロジェクトにより、下水処理場の地産地消エネルギー供給拠点化

下水処理場



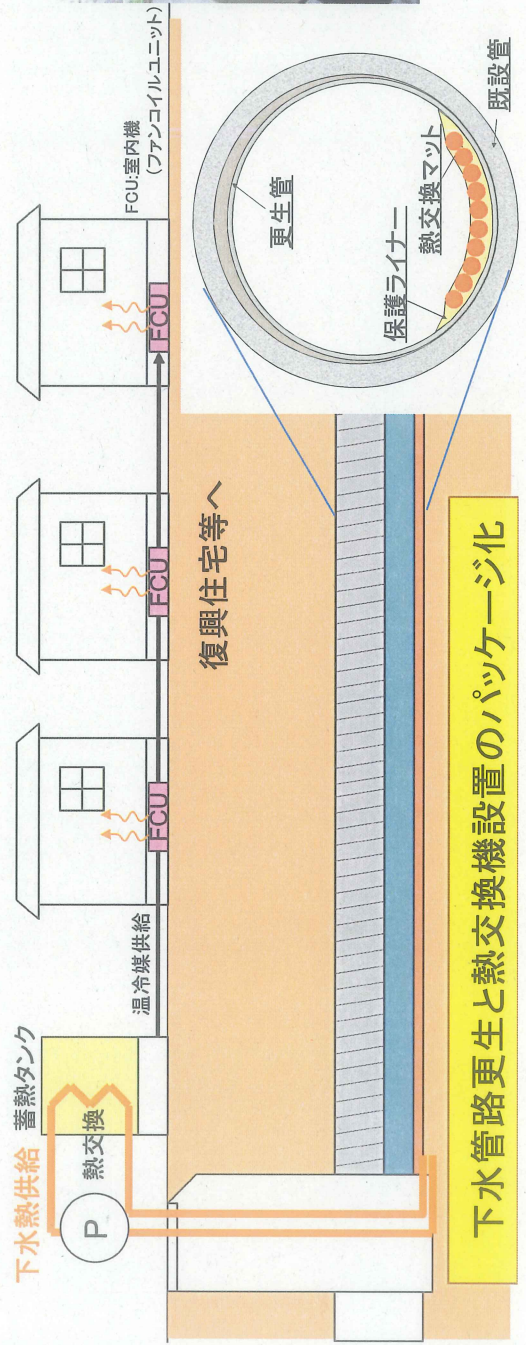
隣接する漁港地帯



現地会議での気仙沼市長の挨拶
(2011年11月21日 於:気仙沼市役所)

仙台市

今後の下水管路改築ニーズの本格化、低炭素まちづくり貢献の観点からは、
下水管の未処理下水の温度差エネルギーは高いポテンシヤル



下水熱現地調査
(2011年11月30日 於:仙台市内)